

バス停タイムス

2015年5月14日

No.30

発行者

成田隆浩

編集者

教宣部

JR東海労働組合新幹線地方本部

早番出勤30分繰り上げ問題で改善を迫る！

SMTと再度団体交渉開催！

私たち新幹線地本は5月11日、「出向先会社の労働条件改善」に関して、新幹線メンテナンス東海株式会社（SMT）と、今年二回目の団体交渉を開催しました。

今回の団交は、前回交渉でSMTが回答できなかった部分を中心に議論をしました。特に早番出勤30分繰り上げ問題について改善を強く求めました。

30分繰り上げ出勤は日勤の超勤解消のため！ 30分の休憩時間増のはずが移動時間に大幅に喰われる！

ダイヤ改正以降の早番の休憩時間について、「出勤時間が繰り上げられた30分については休憩時間にするので労働時間に変わりはない」との説明でしたが、増えたはずの休憩時間はほとんどが分散付与されており、しかも移動時間にその多くが喰われているため休んだ実感がなく、休憩時間としての価値がないと改善を求めました。それでも、「休憩時間は2時間確保している。分散付与に問題ない」というのがSMTの姿勢です。また、説明会では変わらないとしていた業務量が、実際には増えていることについては、「一日2本ちょい増えている。説明会では基本作業について言った。手待ちは減ったが労働時間は変わらないので問題ない」と答えました。

私たちは、説明会では基本作業などとは言っていない、今さら基本などと言われても冗談じゃない、なぜその時言わなかったのか！作業量が増えて労働強化になった。基本どおり休憩時間は2時間一括付与すべきだ！と改善を強く求めました。

作業終了後の実質15分の現場説明会では理解できない！

15分の説明では理解するには時間不足である。しかも深夜の仕事で疲れた状態に理解しろと言われても厳しい状況がある。以前のように出勤前に超勤でしっかり説明するべきだと訴えました。SMTの回答は、「手待ちの有効活用で十分できる。超勤の必要はないと判断した」というものでした。私たちは、本当に理解してもらおう気があるのか疑問であると訴えましたが、SMTは、「説明の時間帯は現場の判断で行っている。問題ない」として、本社の責任を放棄する姿勢に終始しました。

私たちは、社員が理解しないと労働安全上や作業性などで問題であり、認識を改めるべきであるということ強く主張しました。

不利益変更ではないので、労組との合意は必要ない!?

30分繰り上げ出勤して拘束時間は増えているのに労働時間は変わらずという、労働条件の不利益変更で労基法に抵触する疑いについて、SMTは「勤務種別の変更であり労基法の問題はない」と回答しました。また、従業員全体の理解を得たのかどう

かについては、「合意は必要ない。説明であり周知すれば十分である」と答えました。

現場説明会で「SMT労組と合意した」と語ったことについては、「会社の認識が違っていた。訂正する」とし、この間のSMT労組との「交渉」も団体交渉ではなく説明でしかないという認識を示しました。さらに、「現場で問題があればSMT労組からも申し入れがあると思うが、今のところ何も申し入れはない」とも回答しました。

社員登用の拡大で希望持てる会社に！

従業員の定着率改善と社員登用数拡大の要求などについては、「一年で見ると3割超の人が辞めている。登用数の比率（社員比率は50%）は変えていない。退職者を補う程度と必要によって補充している」また、「社員登用は試験結果であり、競争はある」と回答しました。私たちは、長年一所懸命に貢献してきた人たちの社員登用を拡大するべきだ。社員になることを希望とし、励みにして頑張っている人が大勢いることを考え、将来を明るいものにすることが大事だと強く訴えました。

年休取得率が日勤、夜勤ともに100%!?

年休取得率が100%と答えたことに対して、にわかに信じられないのが実感であり、根拠について質しました。SMTの回答は、「3月までの集計では日勤、夜勤事業所とも100%を超える。年度に発給した（年休の）トータルである」また、年休を流す人は「1割に満たない」というものでした。私たちは、年休は取りたいときに取れない場合が多い。また、公平性に疑問もあることを訴え、改善を要求しました。

労働者の声の結集で労働条件を改善することは可能!!

30分の繰り上げをなぜ労働時間としないのかについてSMTは「業務の必要上繰り上げた」と回答し、『日勤の超勤解消のために夜勤で対応させた』ということを確認しました。私たちは、日勤の超勤代を夜勤への手当等に還元するべきだ。でないと会社は丸儲けではないか！と主張しました。SMTは「ずっとこのままという事ではない。社員からの意見があれば検討する」と答えました。労働者の声を結集させることで現状を変えることはできます！

呼び捨て点呼が「点呼の厳正」と開き直りの回答！

三島事業所の前近代的な呼び捨て点呼について改善を求めましたが、「現状で対処されたい。社員からの要望がないので現状で問題ない。点呼の厳正さという事から現場が行っている」と、SMT本社としての責任を放棄した回答でした。私たちは、社員のモチベーションなどを考慮し、本社の指導で改善するように再度要求しました。

JR東海労の組合掲示板・組合事務所使用条件を議論！

SMTの事業所内にJR東海労の掲示板設置、組合事務所および会議室使用などの便宜供与については、「議論の上検討する」と回答し、使用目的や使い方などについて言及し、改めて回答することを確認しました。

